

設 立 趣 意 書

[とっとり出島イノベーションプロジェクト推進協議会]

1. 目的

今後大きく発展すると考えられているADAS・EV関連産業やAI技術の動向を注視しながら、地域に密着する新しい社会・価値創造に向けた「将来型モビリティ産業」の振興を図るため、県内事業者が情報共有・技術習得の機会創出、人材育成（イノベーションデザイン力の向上等）、試作開発から販路開拓、企業間連携の促進等の取組み、新たなビジネスモデルの創造と事業化等について協議し共創する場として、本協議会を創設する。

2. 背景

現在の国内では、都市部においては公共交通手段が発達しているが、人口減少社会の中、地方都市、郊外・山間地などでは自家用車等の移動手段に依存する地域が多く存在する。このような地域においては、今後高齢化の進展に伴い交通弱者の増加が見込まれており、昨今のコロナ禍の影響によるパーソナルな移動手段へのニーズの高まりも重なり、新たな移動手段としての小型で安全なモビリティの社会実装が課題となっている。

しかし、地域に定着する交通手段やシステムは、その地域の環境や住民のニーズ等の個別の事情に左右されるため、全ての地域に画一的なシステム等が実装できる訳ではない。従って、従来型の自動車メーカー主導によるモビリティ開発のコンセプトや商慣行のままでは、地域毎に大きく異なり多様化するモビリティニーズに応じることは困難であり、経済的で効果的な交通手段・システムは、その地域で評価し社会実装されるべきものと考えられる。

また、そのような議論を地域の事業者が行い、その価値を共有することで、共通認識の上に新しい社会・価値創造に向けた「将来型モビリティ産業」の姿が確立するものと考えられる。

公益財団法人鳥取県産業振興機構においては、このような要請に応えるため、「とっとり出島イノベーションプロジェクト」を事業化し取り組みを行うものであるが、同時に本協議会を設立し、地域の課題や将来展望、各社の製品や技術・業態等がどのように関与・貢献できるか等について意見交換を行いながら、各種事業を協働で推進し、もって県内産業の振興と県経済の活性化に繋げることをしたい。

3. 取り組む事業内容

- (1) ADAS・EVにかかるシミュレーション及び街区での実証実験
 - ・市販車両に後付でADAS機能を実装するベンチマークで、ADAS技術を習得
- (2) 海外交流を通じたビジネスマッチング
 - ・海外のEVサプライヤー（中国・遼源市等）とのビジネスマッチング
- (3) 講義やインターンシップを通じた人材育成
 - ・国内大学・支援機関等によるセミナーや講演の開催
 - ・吉林大学自動車工程学院によるインターンシップ等
- (4) その他、協議会の目的を達成するために必要な事業
 - ・実証実験を自社製品の改良・新製品開発に活用
 - ・社会実装に向けた新規ビジネスモデルの検討